

「日本の鬼の交流博物館」は、1993年(平成5年)4月25日にオープンしました。当博物館の基本コンセプトは、「大江町の地域文化(イメージ)の代表選手である『鬼』が存分に活躍することができる施設」であり、鬼を捉える切り口として鬼に付託された多様なメディア(文化)を使い、鬼を知るとともに交流活動を推進することができる施設として期待されました。

館内は「交流機能」と「展示機能」を合わせ持つよう設計されており、「鬼」を媒介として「交流」し、「文化」を「ためる」、そして「伝える」拠点として誕生しました。

今回の特別展では、テーマを3部に分けて展示を行います。

第1部

「近世以降における大江山鬼退治伝説の活用」では、江戸時代前半以降、大江山の鬼伝説及び鬼伝説関連地がどのように捉えられていたか、そしてどのように紹介され、活用され、まちづくりへとつながっていったのかを探ります。

第2部

「日本の鬼の交流博物館の開館前夜」では、建設の基本コンセプトをはじめ、外観イメージや建物構成イメージなど、開館前につくられた整備イメージの内容を紹介します。

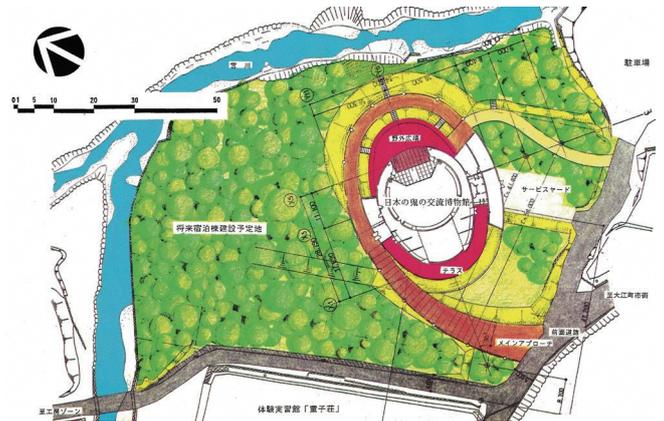
第3部

「日本の鬼の交流博物館30年のあゆみ」では、開館後、毎年開催してきた特別展を中心に、節目の出来事(天皇皇后両陛下ご視察等)などを紹介し、30年を振り返ります。



鬼伝説の活用 ・鉄道沿線案内書に掲載された「大江山鬼退治伝説」の紹介(左)
・春の福知山鬼まつり(右)

日本の鬼の交流博物館建設計画配置図



日本の鬼の交流博物館開館式(平成5年)



日本の鬼の交流博物館へ天皇皇后両陛下ご視察(平成12年)



平成23年度秋季特別展「水木しげるの描く鬼たち」

同時開催講座 鬼の学校「日本の鬼の交流博物館の30年を振り返って」

日本の鬼の交流博物館歴代館長と世界鬼学会会員による博物館開館にかかわる様々な話や開館後における鬼を媒介とした30年間の取り組みなど地域づくりを振り返る講座です。

- ① ところ 日本の鬼の交流博物館内 鬼文化研究所研修室
- ② と き 11月4日(土) 13:30~15:00

- ③ 講 師 ・日本の鬼の交流博物館歴代館長4名 ・世界鬼学会会員 新宮七郎氏
- ④ 定 員 20名 ※定員になり次第締め切ります。
- ⑤ 費 用 受講料500円 ※鬼学会会員・大学生は300円
(なお、博物館内への入館は別途入館料が必要です。大人330円、高校生220円、小中学生160円)
- ⑥ 主 催 世界鬼学会(事務局:日本の鬼の交流博物館)
- ⑦ 共 催 福知山市教育委員会
- ⑧ 申 込 日本の鬼の交流博物館へ電話・FAX・メール(onihaku@city.fukuchiyama.lg.jp)にて申し込みください。

日本の鬼の交流博物館

〒620-0321 京都府福知山市大江町佛性寺909 TEL&FAX:0773(56)1996

開館時間:午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日 ※ただし11/4(土)は開館します

入館料:大人330円、高校生220円、小中学生160円 ※団体割引あり

11/3(祝・金)は「関西文化の日」のため入館無料です

アクセス

- 京都縦貫道[舞鶴大江IC]出て約35分
- 京都丹後鉄道[大江山口内宮駅]下車、徒歩約50分
- 京都丹後鉄道[大江駅]下車、市バスもしくはタクシー(要予約)で約20分
- 地域送迎サービス「鬼タク」(土日祝のみ運行、要予約、有料) 予約ダイヤル:0773-33-5533

